

教材活用シリーズ 第144回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント（場面・方法）などを紹介します。

ココがプレミアム！ ひと味ちがう、理科・社会科方眼ノート

(株)文溪堂
『理科プレミアム
方眼ノート』3～6年
『社会科プレミアム
方眼ノート』5・6年



(株)文溪堂 編集部

はじめに

小学校の理科や社会科の問題解決学習を進める上で、自分の考えを整理したり、これまでの学習をふりかえったりするために、必須アイテムである方眼ノート。そんな方眼ノートを普段の学習のなかで最大限活用するためには、どんな工夫があるか、とよいのだろうか、という命題のもと生まれたのが『理科プレミアム方眼ノート』『社会科プレミアム方眼ノート』です。今回は、本商品のプレミアムである所以をご紹介します。

ココがプレミアム！

① 充実の方眼ページ数

一般的な方眼ノートの2倍近くのページ数を確保しました。ノートの使い方を調査すると、「年間に2〜3冊使っています。だから、これまでの学習のふりかえりが不便なんです」といったご意見が多数ありました。そこで、一年間使い続けられるページ数を確保することで、学習のふりかえりをしやすくしました。

また、「ノートを回収する際、該当ページを

広げて回収するため、誰のノートなのかを毎回表紙を見て確認しています」というご意見をもとに、毎ページに名前欄を設けるなど、細部にもこだわりました。

② B5プリントがそのまま貼れるA4サイズ

授業の展開によっては、配布したプリントをノートに貼る場面が見受けられます。その際、よく使われているB5サイズのノートですと、プリントをそのまま貼った場合、ノートからはみ出してしまうことがあります。A4サイズのノートであれば、配布されたプリントをそのまま貼るので、プリントを切る時間や手間が省けます。

③ 飛び出す巻頭グラビア〈理科〉

各学年の代表的な観察・実験器具の使い方をまとめました。正確な観察・実験結果を得るためには、正確な器具の使用が不可欠です。器具の使い方をわかりやすくまとめていますので、観察・実験途中での確認ができます。また、二次元コードから使い方の動画も見られ、手軽に使い方が確認できます。

〈社会〉

5・6年生の学習に必須の地図や歴史年表を、ノートを使用しながらいつでも簡単に見ることがができます。地図帳や教科書を逐一開く必要がないので、授業中に位置関係や時系列をすぐに確認したいときに便利です。



◀◀ 巻頭グラビア

④巻末で単元の復習「たしかめ問題」

〈理科〉

「国語や算数に比べて、理科はたしかめプリントが少なくて困っている」といったご意見を頂戴することがあります。そこで、巻末に単元のたしかめ問題を掲載しました。ページ下部に答えを載せており、自己採点ができるので、先生の負担軽減につながります。

〈社会〉

理科と同様のたしかめ問題に加えて、穴埋め式の世界地図や日本地図、年表など、授業内でご使用いただける作業ページを設けています。地図資料をコピーして配布したり、糊付けしてノートに貼ったりする時間を短縮できるので、効率よく授業を進めていただけます。

⑤ノートまとめて大活躍「学習シール」

〈理科〉

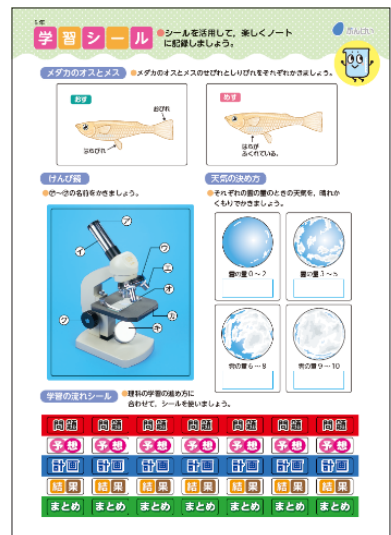
観察・実験の結果をまとめる際、絵や図に表すことが多々あります。「学習シール」を用いた記録をすることで、楽しく、わかりやすいノート整理をすることができます。

〈社会〉

社会科は、資料からわかったことや考えたことなどを、ノートにまとめる作業が多いというお声を耳にします。「学習シール」を活用していただくことで、短い時間ですっきりとノートまとめをすることができます。また、6年生の歴史人物シールは、シールを使用することで、楽しみながら歴史上の人物を覚える一助になります。

おわりに

『理科プレミアム方眼ノート』『社会科プレミアム方眼ノート』は、現場の先生方のさまざまなご意見をもとに企画・制作いたしました。これからも先生方や子どもたちの声を大切にしながら、使いやすいノート教材の開発を続けて参りたいと思います。



▲学習シール